



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／宮坂宥洪
- 副会長／北村正春・牛山幸一
- 幹事／林 裕彦
- 会報・雑誌・広報委員長／山岡晴男

■ 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F

Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939・URL:<http://okayarc.org>・E-mail:[okayarc@amber.plala.or.jp](mailto:okayarc@amber.plala.or.jp)

■ 例 会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

## 第 2470 回例会 2010 年（平成 22 年）4 月 6 日（火）

司 会：杉田隆夫 唱 和：四つのテスト  
 点 鐘：宮坂宥洪 ラッキーNo.：No. 13 川瀬勝敏様  
 齊 唱：君が代・奉仕の理想  
 皆 勤 祝：大橋正明 31 年・小口泰史 14 年・太田博久 4 年・佐藤有司 4 年  
 誕 生 祝：藤森睦美・山岡晴男・宮澤由己・梅垣和彦



誕生祝

### 会長挨拶

いよいよ御柱祭が始まり、陽気もいっそう春めいてきました。

本日のお客様は、児童養護施設つつじが丘学園の川瀬勝敏園長です。ようこそお越し下さいました。後ほど詳しいご紹介と卓話をしていただきます。

さて、「今日は何の日？」とネット検索すると、一年中毎日、何かの記念日になっています。果たして今日は何の日かと調べてみますと、まず、「城の日」になっています。4 月 6 日の語呂合せから、1991 年(平成 3 年)に日本三大名城（姫路城、名古屋城、熊本城）のひとつである姫路城が所在する兵庫県姫路市が制定したのだそうです。

それから「新聞を読む日」になっています。「ヨ（4）ム（6）」の語呂合わせですから、新聞に限らなくてもよいように思いますが、日本新聞協会が平成 15 年に制定したもので、新入生や新社員に対して「春の新聞週間」のキャンペーンを盛んにしています。

これらは比較的最近に制定されたものですが、古いところで、今日は「コンビーフの日」とされています。これは 1875 年（明治 8 年）に、コンビーフの台形の缶が特許登録された日にちなむものです。

まだまだありますが、あと一つだけあげると、今日は「白の日」になっています。これも語呂合わせによるものですが、一体だれが何のためにこんな記念日を制定したのか、何をやる日なのか不明です。もしかしたら、「黒の日」もあるのではないかと考えていたら、本当に 9 月 6 日が「黒の日」になっていました。こちらも一体何の記念日なのでしょう。どなたかご存じの方がいらっしゃったら教えて下さい。

### 幹事報告

・4 月のローターレート 1\$ = 90 円

・次週例会前 12 時より理事会を開催致します。よろしくお願ひします。

## 例会変更

松本西南 RC=4/20(火)→/19(月) 新会員歓迎会(夜間)に変更。ビジター受付は 12-13 時例会場にて。

辰野 RC=4/21(水)夜間例会に変更。ビジター受付は 21 日 11:30-12:30 クラブ事務所に  
て。 5/5(水)法定休日。

## 委員会報告

**社会奉仕委員会** 4/20(火)の例会は清掃例会として岡谷駅周辺の清掃を行います。清掃のできる服装でお越しください。

**職業奉仕委員会** ご案内しておりますが5/11(火)午前8:30より健康診断を行います。多くの方の受診をお願いします。



### 卓話 「学園の状況について」

児童養護施設 つつが丘学園  
園長 川瀬 勝敏 様

歴史と伝統ある岡谷 RC にお招き頂きありがとうございます。いつも短大などでの子供たちの話は虐待や家庭におけるさまざまな問題等、惨劇と言っていいほどの話で具合の悪くなる学生もおりますが、今日は児童養護施設の状況や今後の課題についてのお話をさせていただきます。

新潟県上越市の上杉謙信で有名な春日山城のすぐ下に実家があります。林泉寺からは歩いて 1、2 分です。その辺りは川瀬姓が多いです。

私は兼業農家の次男です。母は父親を戦争で亡くし母親を助け、妹のために子供の時から働き苦勞をしてきた人です。母の妹が小さい頃に火鉢に入りやけどを負いましたが、近くに医者がおらず、薬はあったものの薬の上に当てる油紙が高価だったそうで、私の母は直江津まで薪を背負い、売って妹のためにお金を用意したそうです。当時、役場の方から母の母、私の祖母ですが、生活保護を受けてはどうかという話もあったそうですが、受けることは恥であり、自分の家族は自分でどんな苦勞があっても守るという考えがあったんだと思います。母は中学しか出ていませんが、二人の妹たちのために一生懸命働いて生きてきた女性です。

そんな環境の中で私はその恩を知ってか、知らずか海外まで行き、そして地元から離れ長野県に根をおろして社会福祉に携わっています。未だに両親にはなぜそんな仕事をするのかと聞かれる事もあります。次男坊というのは外で一旗あげて家にお金を入れるものだと幼少の頃から常に言われてきたので反動ではないかと思いますが、そんなことはとても言えません。私は私の道でしっかりやって行きたいとそんなことから長野へ来ました。

つつが丘学園は昭和 26 年に設立されました。今の塩尻峠の上の方に塩嶺学園として出来、創立 60 年を超えました。現在の場所には昭和 41 年に移転し名称もつつが丘学園と変わりました。年間に 50 名を預かっていると計算すれば学園で生活した子たちは約

3000 人となります。当初は戦災孤児の身寄りのない子供たちが中心でした。

戦災孤児の問題が一つ区切りが付きますと、今度は経済成長の時代となり、色々な構造や家庭環境、地域環境が変わっていく中で生まれてくる子供たちやそれに馴染めない子供たちの校内暴力や非行の問題、家庭の中の問題等がその後の問題でした。施設としてもそういった子供たちや虞犯傾向の子供たちを主に見てきたのが平成に入る少し前頃でした。当時の子供たちは元気がありました。ケンカもありましたし、大きな子が小さな子に声を荒げる事もありました。また、上の子が下の子の面倒をみるという、家族であることを施設内でやっていました。学校で施設の弱い子がいじめられたりしたときは俺に言えというボス的な上級生もいて、ある意味では弱い子供たちを守っていました。自分たちのことは自分たちで守ろうという気持ちがあったと思っています。

そしてまた、色々な問題が出てきました。暴力や言葉の暴力等が今度は身体の内面にも向かっての暴力に代わって来ます。それが、虐待につながって行きます。これは平成に入ってからだと思います。親殺しや子殺しの時代と言われる中で、自分の一番信頼すべき相手を殺めてしまったり、自分の欲求が通らないときに攻撃的になってしまうような傾向や責任ある行動がとれなくなって来ているという問題に、プラス社会的な病理と言われている虐待という問題が社会をうずまいており、DV 被害の弱い女性や子供たちにしわ寄せが広がっています。

現代の少子化の中でも家庭に住めない、保護を必要としている子供たちは増えています。児童養護施設は全国に 550 以上あります。全国で要保護の子供たちは 4 万人います。どこの施設も手一杯です。

昔は中学を出て就職する時代でしたが、今は高校へ進学するのが当たり前の時代ですし、中学卒業での就職は難しく受け皿がありません。そうなりますと高校までしっかり育て上げて子供たちの社会的自立を担う事が必要で、それに伴い法律も変わり児童養護施設に名称も変わり、子供たちの自立支援を行う事を目的としています。

つつじが丘学園では現在 50 名の子供たちがおります。50 名の子供たちを育てるのは非常に大変です。一人の子供を育てるのも大変な時代と言われてはいますが、24 名の職員で 24 時間 365 日、交代制で勤務をして、子供たちの生活を見ています。今日も小学校 1 名、中学校 5 名の入学式でした。

子供たちの自立支援をするという事は非常に難しく一人一人が皆、背景が違い考え方もまた、国籍も違う場合もあります。難しいですが子供たちの自立支援を目指して取り組み、目標として頑張っています。

今、地域に向けての施設の開放や施設づくりを行っています。数年前に三沢地区と災害協定を結んでいます。これは施設には常時職員がいますし、生活環境やスペースが整っていますので、地域の方にも使って頂きたいという思いからです。

また、三沢区の休耕田を利用して地域の方々と施設の子供たちとで田んぼづくりを計画しております。そう言ったことも含め市内、地域の皆様のご協力を頂き感謝しています。

子供たちや職員も含め地域へ出て、相互理解が深まって行けばいいと考えています。

ただ、施設の予算は国の基準により生活保護単価と同額の1日1680円です。そういった中で、子供たちが野球をやりたい、バスケットをやりたいと言っても道具を買う予算がないんです。中、高校生の部活には多額の費用がかかりますし、それ以外の費用をどうすればいいか、地域の子供たちと同じスポーツをするのにも今の子はかなり良い道具を持っています。施設の子どもたちはお下がりを使っているのも可哀想だなと思いながらもやっています。施設の子供たちであっても同じなかでの競争をさせてやりたいと思っています。お金が無いから出来ないとは言いたくないです。皆と同じように子供を育てて行きたいと思っています。園の中のやり繰りだけではどうしようもない部分を地域の方や関係各位の方々に御支援を頂いて、そして子供たちが感謝の気持ちを持てれば、必ず社会に還元できると信じて子供たちと向き合って日々やって行きたいと思えます。今後ともご支援、ご指導のほどを賜りまして本日のお話とさせていただきます。ありがとうございました。

## 支援金授与



## ニコニコボックス

井上保子・牛山幸一・大橋正明・小口成人・小口雅弘・小口泰史・尾関秀雄・笠原祥一・北澤洋之介・小出 篤・小松正二・杉田隆夫・高木昭好・竹村一幸・濱 透・濱 俊弘・林尚孝・林 裕彦・林 靖高・平沢清文・藤森睦美・宮坂 伸・宮坂宥澄・宮澤由己・矢島進・山岡正邦・山崎典夫 つつじが丘学園川瀬園長を歓迎します。

山岡晴男 4月よりお世話になります。

宮坂宥洪 山岡晴男さん久し振りです。

杉田隆夫 創業80年になりました。大勢の皆様にお世話になっています。

白鳥修次 創業60年を迎えました。今後とも御指導、御鞭撻のほどお願いします。

平沢清文 創業月です。

## 出席報告

会員数47名、出席者34名、出席率72.34%、前々回訂正75.51%

### <ロータリーカード入会のお願い>

お買い物をする際にはロータリーカードで！！

自己負担なしで自動的に財団へ寄付することができます。

(注:クラブ番号=14231・オリコカード営業部 03-5877-5531)



2009-2010年度R I テーマ  
ロータリーの未来は  
あなたの手の中に  
THE FUTURE OF ROTARY

